

【講演レジュメ】

タイトル：『人は“言葉以外”でも語っている ～印象・気持ち・マナーの心理学～』

対象：中学2年生 約100名 時間：50分

1. 自己紹介（5分）

- 講師の紹介（名前・職業・生年月日・家族構成・趣味・なぜ今日話すのか）
- 今日のテーマは「言葉にしなくても伝わってしまう」ってこと

2. 初頭効果（第一印象の法則）（8分）

- 【説明】第一印象が、その後の印象を大きく左右する
- 【実例】アッシュの形容詞の並び替え実験（ポジティブ→ネガティブ）
- 【問いかけ】第一印象で「怖そう」「優しそう」と感じたことある？
- 【教訓】社会見学の最初の10秒が超重要！

3. メラビアン法則（非言語の重要性）（8分）

- 【説明】「言葉が7%、声が38%、見た目・表情が55%」
- 【注意】“感情が矛盾してる時だけ”の法則！
- 【体験】「ありがとう」を無表情と笑顔で言ってみよう
- 【まとめ】感謝・礼儀は“顔と声”で伝わる

4. 感情伝染（Emotional Contagion）（8分）

- 【説明】感情は表情や態度を通じて無意識に周囲に伝わる
- 【実例】怒った人がいると空気がピリピリする／笑顔が周囲を和ませる
- 【体験】怒り顔と笑顔で「ありがとう」と言うロールプレイ
- 【教訓】良いマナーは“良い感情と良い態度”から生まれる

5. 返報性の法則（好意のキャッチボール）（8分）

- 【説明】人は好意を受けると、返したくなる心理がある
- 【実例】ミントのチップ実験、日常の「ありがとう」
- 【問いかけ】どうぞとドア開けられた時、どう思う？
- 【教訓】だから“先に親切にする”ことが、マナーの第一歩！

6. Q&A（8分）

- 感想や質問を募る
 - 「これから社会見学、どんなことを意識したい？」
 - 最後に「伝わるマナー」は“言葉以上に表情と行動”で作れる
-